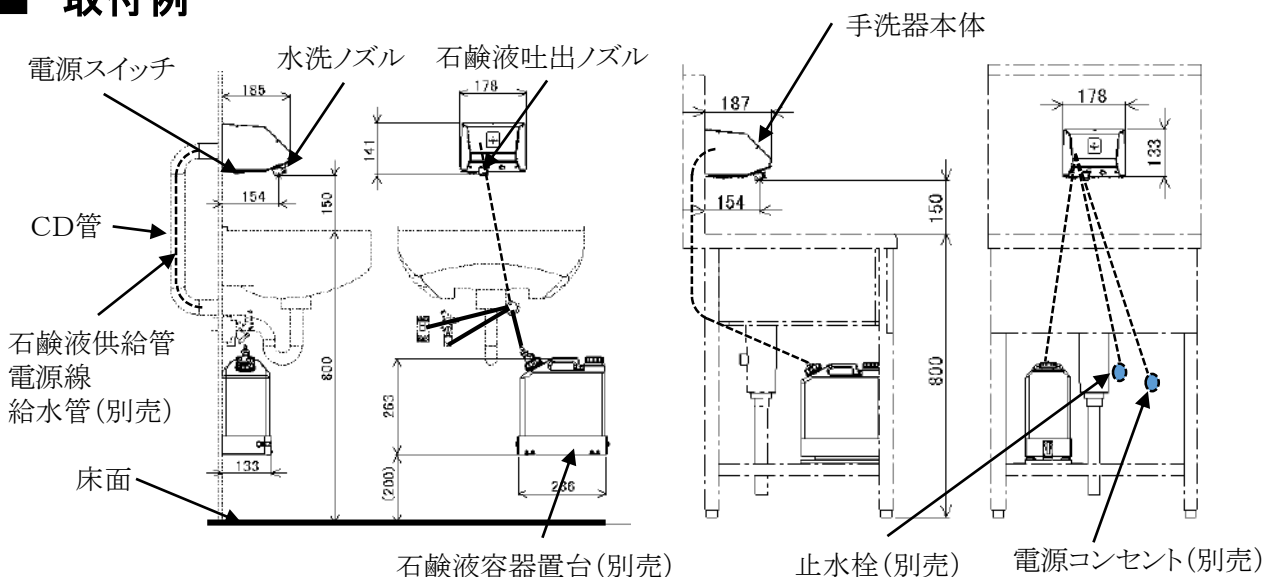


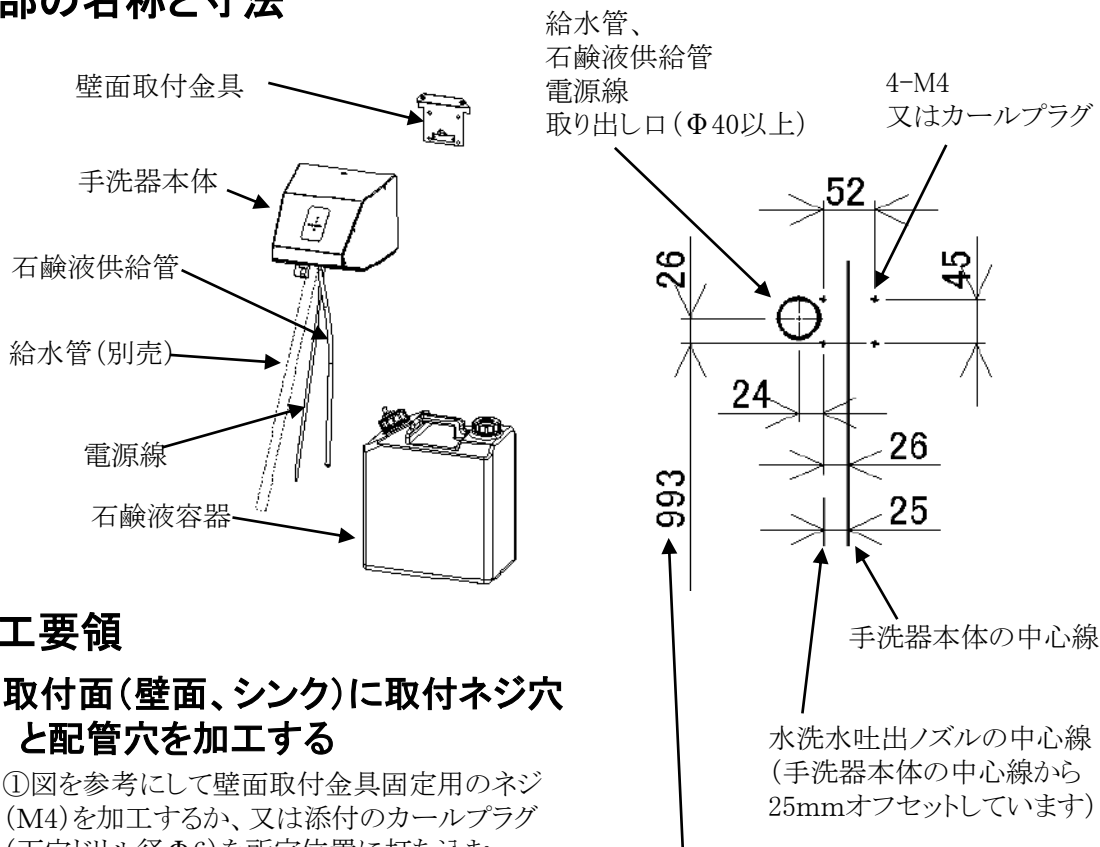
強制自動手洗器 シャボンチャン SH-22 施工要領書

■ **設置場所** 強い光や、直射日光が当たらない室内に設置してください

■ **取付例**



■ **各部の名称と寸法**



■ **施工要領**

1. 取付面(壁面、シンク)に取付ネジ穴と配管穴を加工する

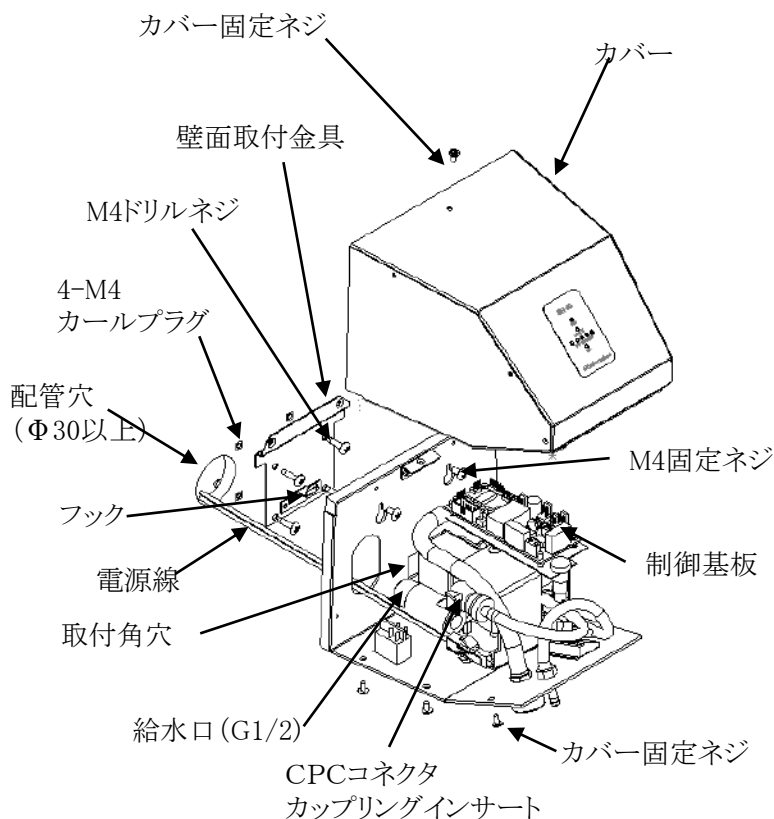
①図を参考にして壁面取付金具固定用のネジ(M4)を加工するか、又は添付のカールプラグ(下穴ドリル径Φ6)を所定位置に打ち込む。

②石鹼液供給管、電源コード、給水管(別売)を取付面の背面(又は壁面内)に通すための取り出し口(Φ40以上)を加工する。

床面から水洗水吐出ノズル先端までの寸法が950mmの場合です

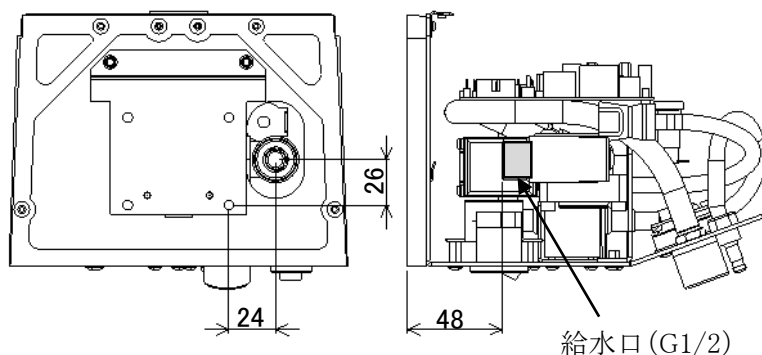
2. 手洗器本体を取付ける

- ① 壁面取付金具を添付のM4ドリルネジ4本で、取付面(シンク、壁面)に固定する。
- ② 手洗器本体のカバー固定ネジ(カバー上面に1本、下面に6本)を外して、カバーを本体から外す(カバーと本体とはケーブルが接続されていますので、注意して作業してください)。
- ③ 手洗器本体に接続されている電源コードを取付面(壁面、又はシンク)の配管穴に挿入し電源コンセントに接続する。
- ④ 壁面取付金具のフックを手洗器本体に開けられた取付角穴に引掛ける。
- ⑤ 手洗器本体の小判型の取付穴に添付のM4固定ネジを通して手洗器本体を壁面取付金具に固定する。



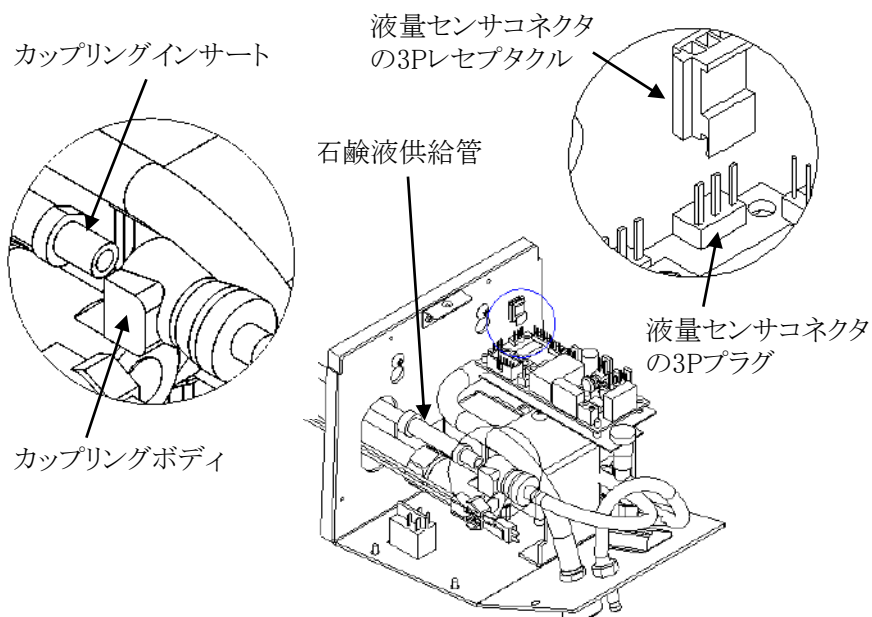
3. 給水管を手洗器の給水口 (G1/2)に接続する

給水管(バンリーフレキ等)を使用する止水栓に接続して水道水を1分間以上流し、水垢、汚れ、ゴミ等が含まれていない事を確認してから、給水管を手洗器本体の給水口(G1/2)に接続する。



4. 石鹼液供給管を手洗器本体に接続する

- ① 石鹼液供給管を壁面等に設置されたCD管内(シンク背面)に挿入し、手洗器接続側を手洗器本体内部に引き込む。
- ② 石鹼液供給管のCPCコネクタのカップリングインサートと手洗器のカップリングボディとを接続する(“カチ”という音がするまでしっかりと両者を押し込む)。
- ③ 液量センサコネクタのレセプタクルを制御基板上の3Pプラグに吻合させる。

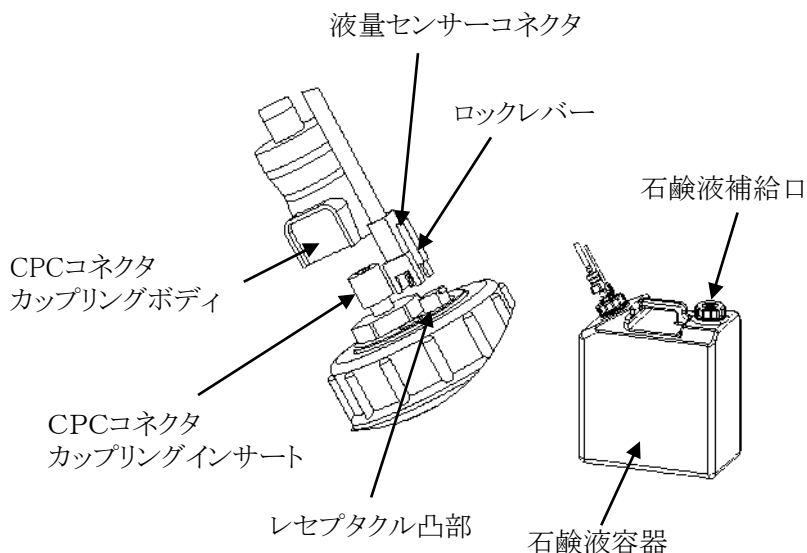


5. 石鹼液供給管とを石鹼液容器とを接続する

①石鹼液容器の石鹼液供給管コネクタがCD管側になるように、石鹼液容器を設置する。

②CPCコネクタのカップリングインサートに装着されている黒色の保護キャップを取除き、石鹼液供給管コネクタのカップリングボディをカップリングインサートに“カチ”という音がするまでしっかりと押し込む。

③石鹼液供給管の液量センサーコネクタを石鹼液タンクのレセプタクルに、フックレバーが手前になるようにして差し込む。



6. 石鹼液容器に石鹼液を充填する

石鹼液補給口のキャップを外して石鹼液容器に石鹼液を入れる。

一般に市販されている水石鹼を石鹼液タンクに入れてください、粘い石鹼液、または固形物の混ざった石鹼液は使用できません。

濃縮石鹼液を希釈して使用する場合は、希釈液に純水(脱イオン水)を使用してください、水道水で希釈すると石鹼液の脂肪酸成分が水道水に含まれている不純物のMg、Caイオンとが結合して金属石鹼(石鹼カス)が生成され場合があります、石鹼ポンプが詰まる事があります。

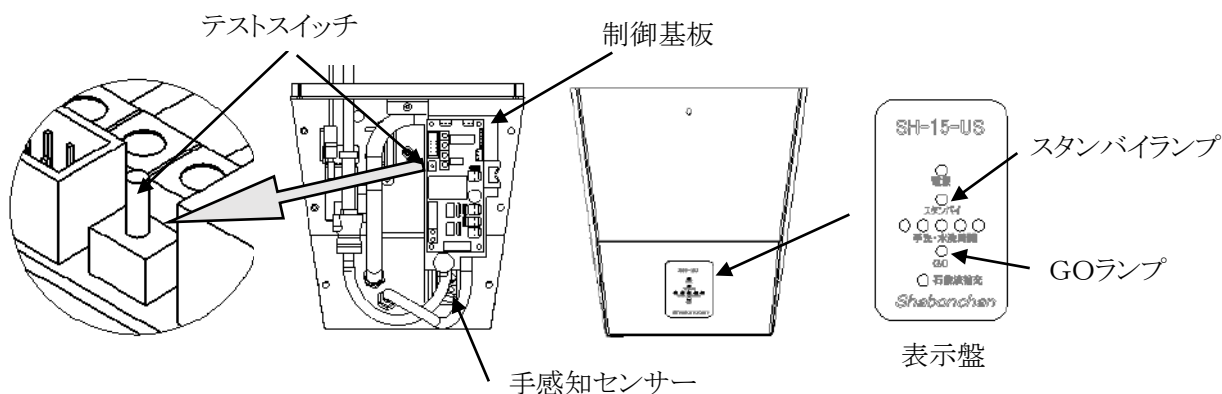
7. 石鹼ポンプの動作確認をする。

①石鹼液吐出ノズルに装着されている、保護キャップを取り除く。

②電源を入れる。電源を入れると電源ランプが点灯して、約5秒後にスタンバイランプが点灯します。

③石鹼ポンプを駆動する。

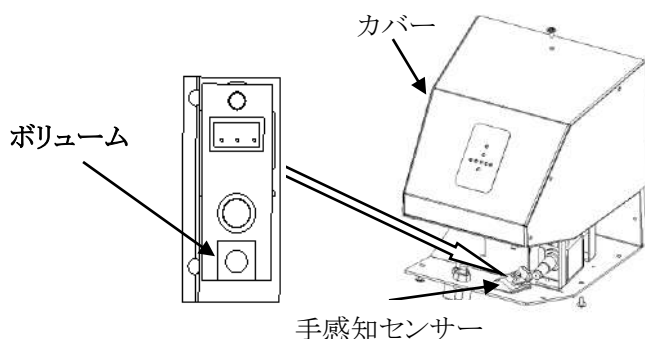
スタンバイランプが点灯してから、テストスイッチレバーを奥に倒すと石鹼ポンプが動作します、放すと止まります。テストスイッチを操作して、石鹼液吐出ノズルから石鹼液がでてくるまで石鹼ポンプを駆動する。



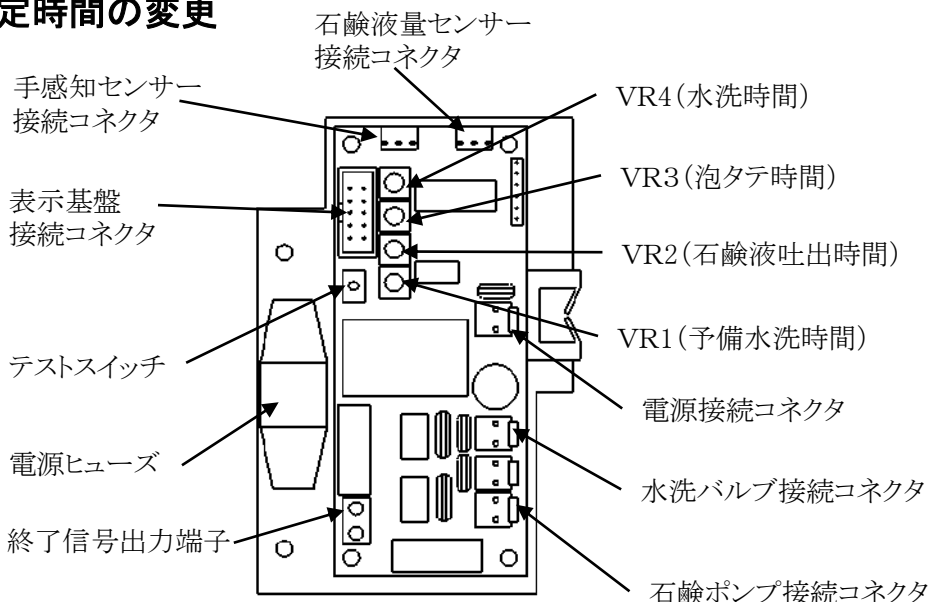
8. 手感知センサーの感度調整

時計ドライバー(先端が細いドライバー)でボリュームを右(時計方向)に回せば感度が高くなります(手が遠くにあっても感知します)、左(反時計方向)に回せば感度が低くなります(手が近くにないと感知しません)。

感度を高くしすぎると、外部光により、常にセンサーが手を感知した状態になり、機器は正常な動作をしなくなります。



9. 設定時間の変更



動作順序		動作時間		動作説明
①	予備水洗	2～10秒	VR1	水の吐出時間が設定できます
②	石鹼液吐出	2～5秒	VR2	石鹼液の吐出時間が設定できます
③	泡たて	10～30秒	VR3	石鹼液吐出後、水が出るまでの時間が設定できます
④	水洗	10～30秒	VR4	水洗水の吐出時間が設定できます
⑤	終了信号出力	2秒	固定	水洗完了後、2秒間信号が出力されます

動作順序③から④に移る時にセンサーが手を感知しないと④に進まないで、水が吐出されません。この機能により、実質的な泡たて時間を延長することができます(最大30秒+20秒)。

10. 他の機器との連動

(1) 終了信号出力端子

他の機器と連動(例えば、シャボンチャンの動作完了でハンドドライヤーをスタンバイさせる場合)にする場合は制御基盤上の終了信号出力端子にケーブルを接続して他の機器と接続してください。本器での手洗完了時にこの終了信号出力端子が2秒間通電可能状態となります(リレーのa接点2秒間動作)。

(2) ケーブルの接続方法

接続するケーブルの被覆を約8mm剥ぎ、終了信号出力端子のネジを緩めて座金の下にそのケーブルを差し込んでネジを締めてください。

11. 手洗機能を確認する

① 電源を入れる。

② 表示盤のスタンバイランプが点灯したら(電源投入して約10秒後)、水洗ノズルの下に手を差し出す。手感知センサーが手を感知して、水が出て、すぐに石鹼液が吐出されます。石鹼液の吐出が止まると、“手洗・水洗時間”のランプが順次消灯し、全てが消灯すると(約10秒後)、“GO”ランプが点灯します。

③ “GO”ランプが点灯したら、再度手を水洗ノズルの下に差し出す。

“手洗・水洗時間”のランプが全部点灯して、水が吐出されます、ランプが順次消灯し、全てが消灯すると(約10秒後)、水の吐出がとまり、1サイクル完了です。

■ 機械が正常に動作しないときの原因と処置

現象1. 手をノズルの下に差し出していないのに、手感知センサーが作動して石鹼液吐出、水洗が繰り返り行われ、何時までたってもスタンバイ状態にならない。

原因: 手感知センサーの窓に水滴が付着して、誤動作している。

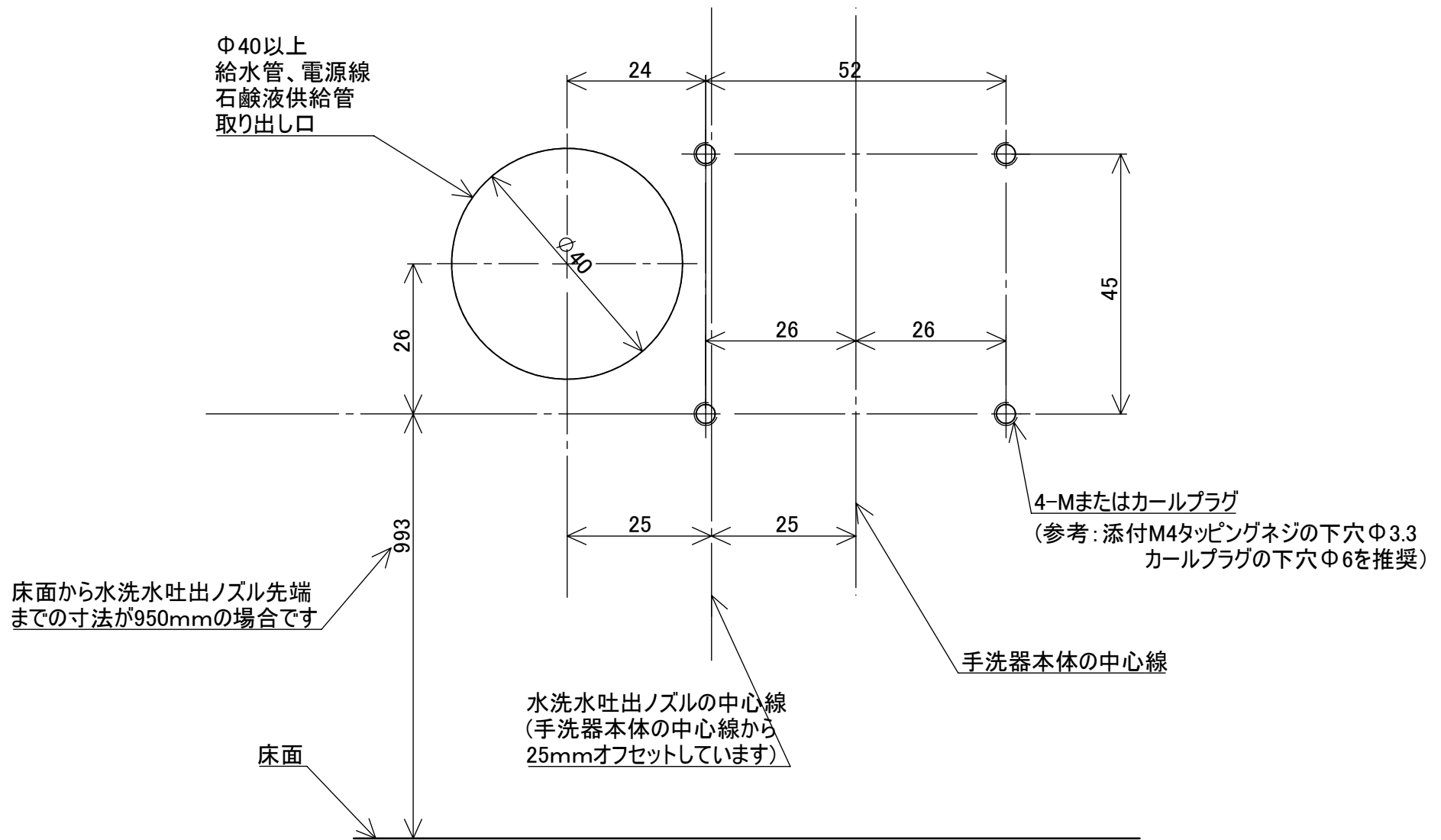
処置: ティッシュペーパーでセンサーの窓に付着している水滴を拭きとる。

現象2. 石鹼ポンプは動作しているが石鹼液が石鹼液吐出ノズルから吐出されない。

原因: 長時間(2週間以上)手洗器を動作させないと、石鹼液が石鹼液吐出ノズル、または石鹼ポンプの内部で固まっている。

処置: 爪楊枝等(直径1mm以下の棒状のもの)で、石鹼液吐出ノズルを掃除する。

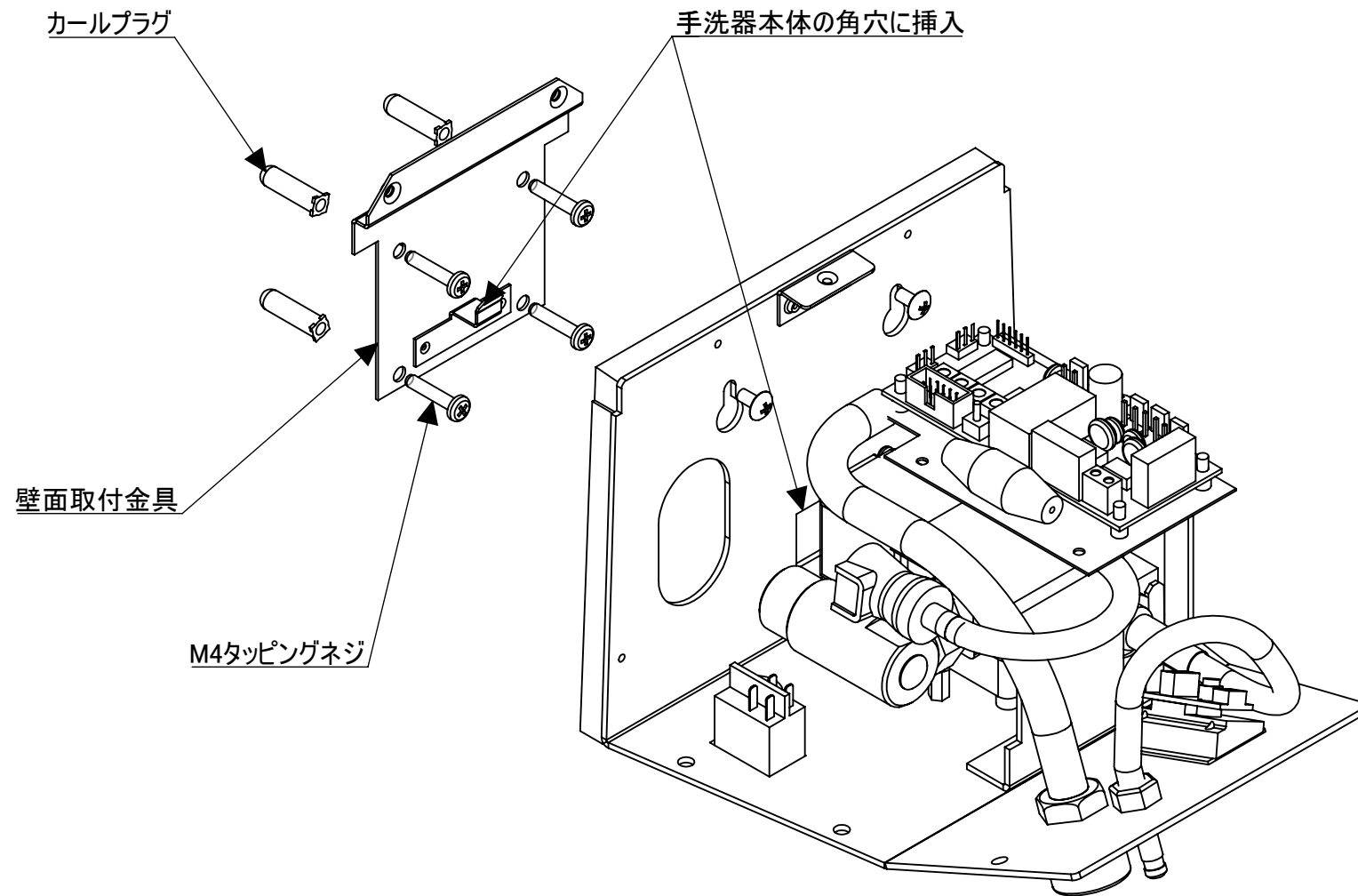
処置: 石鹼ポンプに軽い衝撃を与えて固着されているピストンを動くようにする。



強制自動手洗器

シャボンチャン SH-22 本体取付部加工図

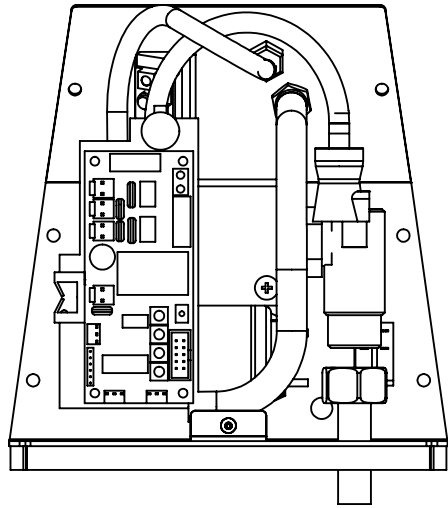
アメリヤ機器株式会社



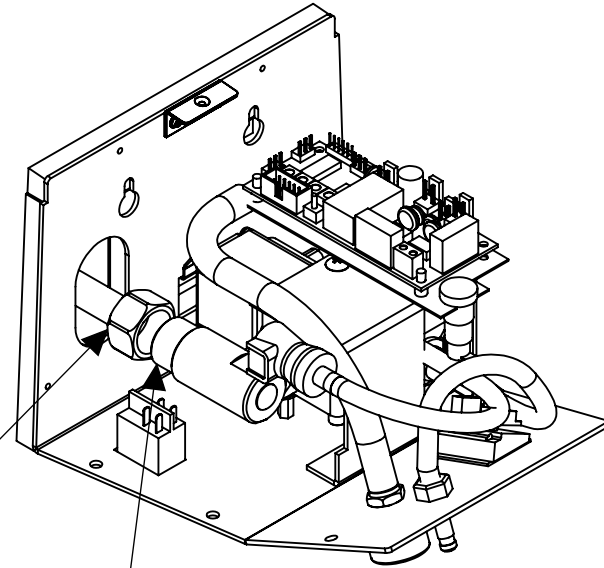
強制自動手洗器

SH-22 本体取付図

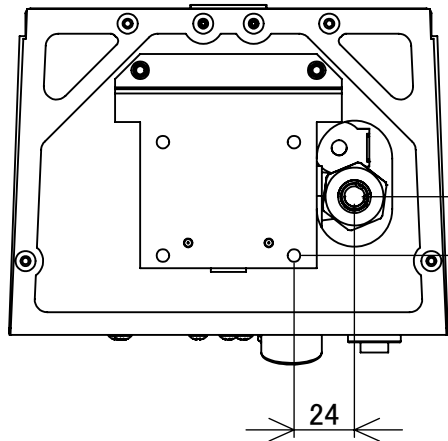
アミヤ機器株式会社



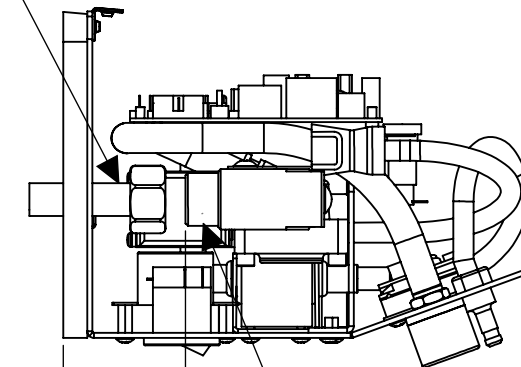
給水管 (別売り)



給水管 接続口 G1/2



給水管 (別売り)



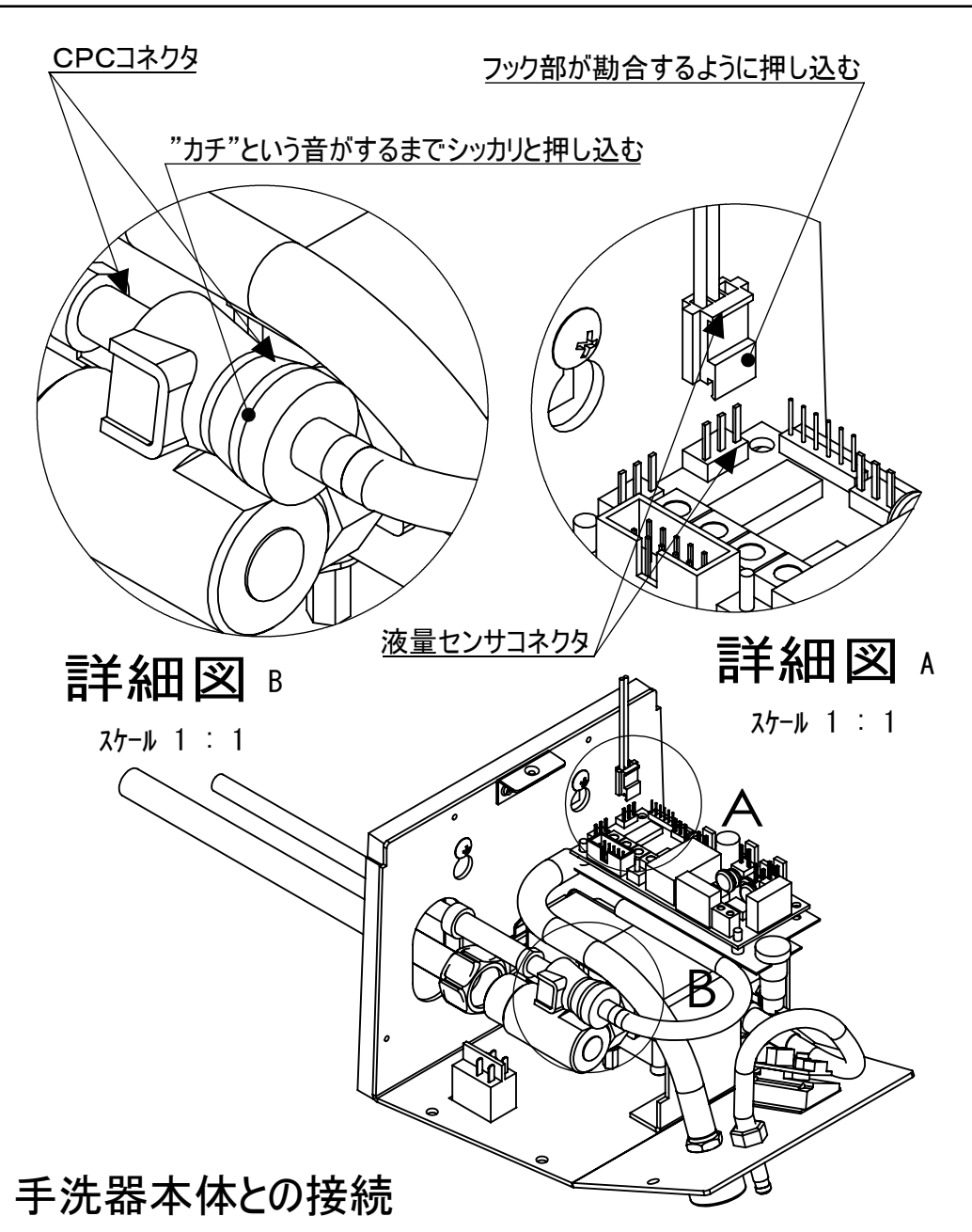
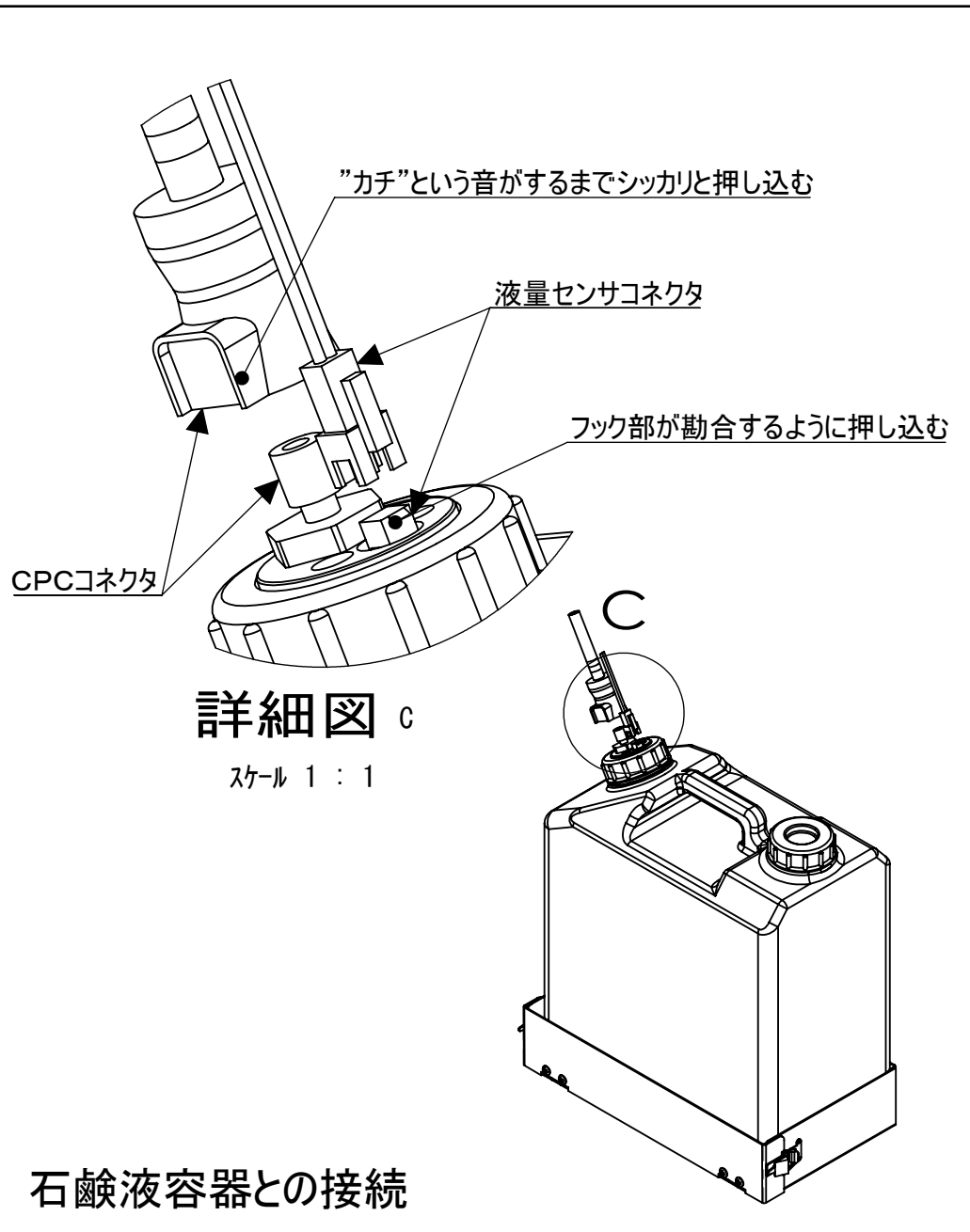
48

給水管 接続口 G1/2

強制自動手洗器

シャボンチャン
SH-20S-US 給水管接続図

アメミヤ機器株式会社



強制自動手洗器

石鹼液供給管接続図

アメヤマ機器株式会社